

作成 2022年3月28日
摂津市議会議員 松本暁彦

令和4年第1回定例会代表質問 ～本会議2日目 2022年3月7日～
議事録（抜粋）

（自民党・市民の会の松本議員が会派を代表して質問。内容は会派で検討したものである。）

2-4 消防力の向上について

質問の背景：消防力の向上について、安全安心のまちづくりには消防力の充実は欠かせない。しかしながら、車両や各種システム等々の高価格化は、将来における持続可能な消防行政を財政面から逼迫させる。その処置・対応について今から計画的に進めていかなければならない。

質疑概要：消防力に関して令和4年度の取り組みを確認するとともに、今後の広域連携や消防団の充実強化について議論を行った。

○松本議員

2-4 消防力の向上について、安全安心のまちづくりには消防力の充実は欠かせません。

摂津市を支える消防本部、消防団の人員・装備、それに係わるインフラ整備を限られた予算の中で、持続可能でかつ最大の効果を生む体制整備が求められますが、本市としての消防力の整備方針についてお聞かせ下さい。

（略※）

○森山一正市長

消防救急救助施策についてですが、近年、全国各地で災害地震が頻発し、また、大規模な火災も多く報道される中、ますます消防に対する需要が高まっております。

大阪府下におきましても、昨年は、大規模・特殊火災が多発し、本市においても同様の傾向にございました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、救急業務では、現在においても非常に厳しい状況下の活動が強いられております。

さて令和4年度の消防救急救助施策につきましては、令和6年度から運用開始する5市での共同指令センターのシステム構築、また、高規格救急自動車の計画的更新、消防団員出動報酬の増額及び分団装備の拡充等に取り組んで参ります。

今後の、本市消防体制の整備につきましては、指令共同運用に例を見ますように、スケールメリットを生かした、消防広域連携を更に推進することが非常に有効である

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

と認識いたしております。

将来あるべき姿を見据えながら、総合的な消防力の充実強化に努め、市民の皆様がより一層安全で、安心して暮らしていただけるよう、持続可能な消防行政を推進して参ります。

(略※)

○松本議員

2－4 消防力の向上について、令和4年度の取り組み、将来を見据えた消防力の充実強化を図られると理解しました。

そのためには装備の高価格化や大災害対応などを踏まえ、広域連携の深化や消防団の強化が必要であると提言しています。

これらの課題について、今後どのように進めて行くのかお聞かせ下さい。

(略※)

○消防長

広域連携と消防団の強化についてのご質問にお答えいたします。

現在、本市が実施しております広域連携の最たるものが、消防指令業務の共同運用であります。

5市による次期消防司令センターの整備に向け、いよいよ、新システムの構築に係る実務に入って参りました。令和6年4月からの運用開始に向け、令和4年度は、構成5市での実務協議と、技術的な工程を予定通り進めて参ります。

また、消防相互応援につきましては、全国規模の緊急消防援助隊の運用をはじめ、既存の大阪府下広域消防相互応援協定をより円滑に運用するとともに、共同指令センターを構築する5市間での連携強化について更に研究し、検討を重ねてまいりたいと存じております。

消防団の強化につきましては、地域防災力の充実・強化に欠くことのできない消防団員の処遇改善として、また、消防団員の更なる確保等に向け、災害出動等に係る出動報酬を新たに規定いたし、その額を増額いたすものでございます。

また、国の告示に準拠した救助用資機材等の消防団装備を充実するなど、地域消防力の充実・強化を図って参ります。

(略※)

○松本議員

2－4 消防力の向上について、広域連携での共同センターや消防団の装備強化を理解しました。その取り組みを評価致します。

今後、広域連携については機材の共同運用なども視野に入れさらに深化を進めるよう、将来に向けて、今しっかりと取り組まれるよう要望致します。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<代表質問 21 項目>

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]